

回 覧



値小だより

島から日本一楽しい学校を
～子どもが未来に誇れる学校～

平成28年10月4日 第14号

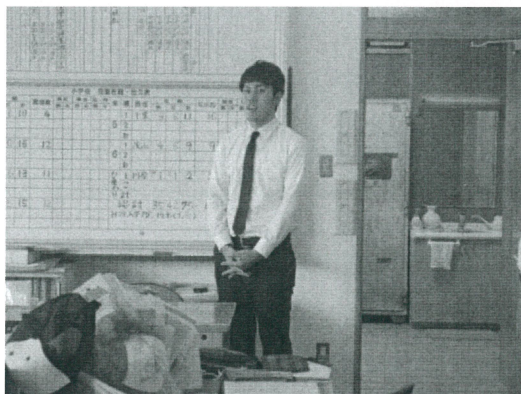
校長 酒井元治

秋だというのにこの日中の蒸し暑さはなんでしょう。おまけに、連発する台風。それでも秋の夜長に聞く虫の音は耳に心地いいものです。最近霜降りになった体を少しでも引き締めようと、朝夕のウォーキングに取り組んでいる私です。暗い中歩いているときらめく満天の星空を見ることが出来ます。小値賀から見る星はとてもきれいで、2等星の北極星（こぐま座のα星）もすぐに見ることが出来ます。

秋の夜長をお子さんと楽しまれてはいかがですか？



ようこそ先輩！（教育実習）



昨日10月3日より19日までの間、本校で教育実習が行われます。実習生は本校出身・迎航太先生です。ご実家は柳で8年前に小値賀小学校を卒業した21歳の初々しい若者です。現在、福岡で教員免許をとるために勉強中。

初日には、実習にあたっての心構えを校長が講話する時間が設けてあるのですが、「今まで影響を受けた先生はいますか？」

と尋ねると、小値賀出身の多々川節子（旧姓；高橋）先生、岸美智代先生の名前を挙げられました。今から教職の道に進もうとする人がこの小値賀出身の先生を尊敬していることにとても感銘を受けました。

大切な我々の後輩です。ていねいに、厳しく指導していきます。!(^^)!

迎先生が正式に教員なられて、数年経ったとき、「僕は小学校で習った迎先生に影響され、教員をめざしています。」という実習生が出るように・・・。

先生たちも勉強するんだよ！研究授業！



先生は教えるものと思っらっしゃる方も多いかと思いますが、私たちが勉強をしています。授業の流し方、子どもたちへの質問の仕方、子どもの意見の取り上げ方、ほめ方諸々について、お互いに授業を見合い研究しています。

「あの場面ではこんな指示がよかったのでは…」「ここではあの子の意見をとりあげればもっと深く学習できたのでは…」など、私たち教師がお互いの意見を出し合いながら、一つの授業について研究していきます。

今年、本校は算数の授業の中で子どもたちが互いに伝え合う活動を通して思考力を高めることをテーマに研究を進めています。先週は1年生久米学級と3年生長谷川学級で研究授業が行われました。1年生と3年生はずらりと並んだ先生方に目もくれず(?)よく頑張っていました。

堂々リクエスト選手権

途中経過

9月に始まった堂々リクエスト選手権、ただ今のエントリーを紹介します。
○合唱「長崎県の子どもたち」

2年 新田結月さん、田中瑠海さん、野澤あかりさん、田川日夏乃さん
橋本結衣さん、藤永かおりさん

- ボイスパーカッション 3年 松本我道君
- 歌って踊る妖怪ウォッチ 3年 伊藤秀一君
- ブレイブボード 3年 福崎真奈さん
- どんな部首でもお答えします 3年 角永佑太君
- じゅげむ 1年 田中優衣子さん



2年生は班ごとに全員エントリーしようとして国語の学習の中でも取り組んでいるところです。10月はエントリーを受け付けながら、練習のため実際にリクエストしてもらいます。ご来校の際には、どうぞリクエストしてみてください。

和歌のおもしろさで 気持ちを伝える

9月、6年生が修学旅行に行く前に担任の茂山教諭と話して、行った先々でただ反省を書かせるのではなく、短歌や俳句を作らせてみようと言うことになり、出しゃばりな私は、その事前授業を6年生の教室で行いました。

まずはこれ。

押し入れに 座敷わらしはいないけど
○○○○○なら いる気がするよ



そう、○○○○○に入るのは「ドラえもん」です。

短歌や俳句は17音あるいは31音で心や情景、季節の移り変わりを表す世界でもっとも短い詩であり、言葉遊びであり文化です。言葉の裏に隠れた心の描写を感じてもらおうと思い、「ドラえもん短歌」を使ってみました。子どもたちには下のような虫食いで提示しました。みなさんはわかりますか？

1 友だちは ○○○○○○○ しずかちゃん
わが子だったら かなり心配

ヒント 「なるほど、心配！」

2 ○○○○の ○○○○○○○で 眠るから
スモールライト 貸してください

ヒント 「きゃ～、恋ばな！」

3 暗記パン いらないくらい 完ぺきに
○○○○○○を 覚えてるから

ヒント 「ストーカーか…。」

4 ジャイアンは かわいいもんだ 飲み会で
○○○○○○を 聞いてて思う

ヒント 「私かも…。」

答えは右側に。

他には「シルバー川柳」なんていうのも紹介しました。



ポックリと 逝きたいくせに 医者通い
絵手紙で いい味出してる 震える字
「やめとくれ」 ただの寝坊で 脈とられ
こんにちは 思い出せずに さようなら
あれよあれ それよそれよと 答え出ず

子どもたちには

「この『シルバー川柳』お年寄りが自分たちで書いていらっしゃるから笑えるんだよね。これを私たちが書いたらすごいイヤミになるよ。」

と念を押しながら。しかし、小値賀の子どもたちはそんなことわかっていました。私が6年生の修学旅行を想定して（もちろん行く前です）作った短歌が下の1首です。

めがね橋 班別研修 ハート型
探せぬ君の そでをとりつつ
さかい もとはる

(めがね橋にはハート型の石があって、それを探すと幸せになれるとか。)

せっかく、修学旅行のドキドキ感を短歌に込めて、童心に返ったつもりで作ったのに6年生の反応はいまいちでした。(あ～青春に帰りたい…。)

さて、そこで修学旅行に行った6年生が作った短歌を2首紹介します。

自主研修 迷子にならずに 到着だ
博物館で 先生を待つ
近藤 花音さん

(実は長崎歴史博物館で集合場所をきちんと指定していなかったため、私たちが「時間になっても集まらんね～。どこ行ったとやろう。」と心配していたところが、子どもたちは全員30分前に2階で待っていたということがあり、そのことを詠んでいます。)

三川内を 絵付け体験 字が書けない
松永 弘大君

(三川内焼の絵付け体験をしたのですが、筆で書くので字が書きにくいことを詠んでいます。)

ドラえもん短歌解答
1 男子ばかり 2 あの人の 胸ポケット
3 君の全てを 4 上司の歌を

回 覧



値小だより

島から日本一楽しい学校を
～子どもが未来に誇れる学校～

平成28年10月11日 第15号

校長 酒井元治

やるぞ！4年生、前期遠足

10月7日（金）1～4年生の前期遠足が行われました。

小値賀町は小・中・高一貫教育の中で、それぞれの発達段階を考慮しながら、いつもとは違った学年のリーダー性を育んだり、中学校あるいは高校への意識を持たせたりすることを目的に、小1～4までを前期、小5～中1を中期、中2～高3を後期とし、いくつかの行事をこのくくりの中で行っています。

この「前期遠足」もその一つ。5年生は宿泊体験学習（台風のため19日から延期）、6年生は修学旅行があることもあって、1～4年生の秋の遠足を4年生がリーダーとしてみんなのお世話にあたるというものです



まずは、出発前に縦割り班の顔合わせを兼ねたレクリエーションでウォーミングアップ。もちろん4年生の司会進行で楽しく行われました。

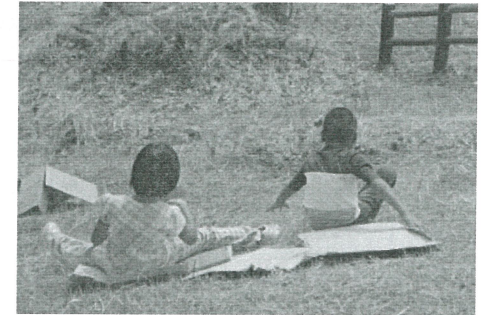
そして、いよいよ遠足に出発。とりあえず総合運動場横の若者交流センターまで歩き、ここから縦割り班でウォークラリー。地図に示されたチェックポイントを通過し

ていくのですが、そのチェックポイントごとに問題が出されています。問題は、「校歌をグループ全員で大合唱しなさい。」とか「教育実習でみえられている先生の名前をフルネームで書きなさい。」とか。私は、ゴールの赤浜公園で待機していたのですが、小値賀の田んぼ一面に響き渡るような大きな校歌の大合唱が聞こえてきました。よく4年生がリードし、



ときには馬鹿になってグループを賑わわせてくれたんだと思います。

赤浜公園到着後も4年生のリードによるゲームやクイズのレクリエーションが続きます。みんなを楽しませるために一生懸命内容を考え、説明の練習を重ねてからの本番でした。その後は、縦割り班で和やかにお弁当タイム。そして、学年に関係なく草スキー（ソリ）やアスレチックなど楽しんだ子どもたちでした。まだちょっと暑さの残る秋の日差しでしたが、子どもたちは思いっきり汗を流し、泥まみれになり、異年齢の交流を深めた1日でした。お世話係の4年生、ご苦労様でした。ありがとう。



ご存じですか？小値賀の子育て支援

他の市町に比べて小値賀町は、子育てに関わる保護者負担の軽減がよくなされているのをご存じですか？「子どもは島の宝」「島の子は島で育てる」という考え方が、町の行政としても実現されています。一部紹介します。

	内 容	軽減内容	他市町の概要
こども園	保育料	全額補助 (実質無料) 給食費のみ	私の子を保育所に預けているとき(20年ほど前)は一人4万円ほどとられていました
小・中学校	教材費 (テストやドリル、 図工等の教材)	全額町補助	ほとんどの市町では、保護者が負担 (年間1人、7000～1万円)
	野外宿泊 学習費	全額町補助	ほとんどの市町では、保護者負担
中学校	各種検定料 (英検・数検・漢検等)	1人2回分 町補助	ほとんどの市町では、保護者負担
中・高	部活動遠征費	一部町補助	ほとんどの市町では、保護者負担

その他、子ども医療費の助成、出生祝い金等、子育てに関して手厚く町の補助があります。上記の保護者の負担軽減も示したとおり、他市町ではあまり例がないもの。おおよそ県内屈指(1番かも)の助成です。

本当の子育て支援とは???

私は諫早市の有喜という昔は半農半漁の田舎の出身です。小値賀と同じく 1 小・1 中で同級生は 100 人ほどでした。そんな田舎の中学校でしたから今でも同級生の結びつきは強く、毎年お盆と正月には同級生数人で飲むのを楽しみにしています。そういうわけで、今年のお盆にも恩師の初盆参り（この話は後日）を終えて、飲んできました。

その飲み会の話の中で、福岡の一般企業で管理職をしている同級生がこんなことを言い出しました。

「うちの会社にも幼児や小学生を持っている社員が何人もおるけどさ、学童保育とかなんで 6 時とか 7 時ぐらいまでしか預かってくれんちゃろうかね。バタバタして帰りよらすよ。会社で働きよる人間の身になれば、8 時とか 9 時ぐらいまで預かってくれれば、女性も働きやすうなっとに。」



なるほど、都市部の会社勤めのお母さんたちは、8 時、9 時になるのも当たり前でしょう。当然出てくるような考えです。私はそこでこんな話をしました。

「なるほどね、わからんじゃあない。もし 9 時ぐらいまでどこかが子どもを預かってくれたら、そりゃあ家庭は楽やろう。でも、子育てにとって家庭の意味ってなんやろうか？ 仮に 9 時に帰宅したとして、宿題も学童でやってきている、晩ご飯を食べさせて、バタバタ風呂に入れて寝るだけ。それで子育てしよるってことになるんやろうか。もちろんそうせんばいかん家庭もある。本来、親も早めに帰宅して子育ての時間がある方が、子育ての本当の支援になると思う。」

さて、みなさんはどう考えられますか？ 社会に逆行するような私の考えですが、小値賀にはまだこの子育ての時間があるように思います。ゆっくりと時間が流れるこの島で、のびのびと子育てができる豊かな時間がいつまでも続くことを願います。

ちなみに、同級生との飲み会はこんな高度な話ばかりではありません。あしからず。(^_^) / ~

変わりゆく日本語？ 正しいのはどっち？

文化庁は 9 月に昨年度の「国語に関する世論調査」をまとめました。一部報道でも取り上げられたので、ご存じの方もいらっしゃるかと思います。この調査は文化庁が 1995 年から全国の 16 歳以上男女 2000 人ほどの回答を得てまとめたものです。

「ら抜き言葉」が若者に浸透

いわゆる「ら抜き言葉」はご存じかと思います。その実態は次の通り。

	(ア) を使う	(イ) を使う	どちらも使う
(ア) こんなにたくさんは食べられない。 (イ) こんなにたくさんは食べれない。	60.8%	32.0%	6.8%
(ア) 朝 5 時に来られますか。 (イ) 朝 5 時に来れますか。	45.4%	44.1%	9.8%
(ア) 今年は初日の出が見られた。 (イ) 今年は初日の出が見れた。	44.6%	48.4%	6.5%

その他にもデータはありますが、各項目正しい表現とされる (ア) を「ら抜き言葉」の使用率が全体的に上回ったのは今回が初めてだそうです。また、この傾向は年齢が低いほど見られるということです。

「さ入れ言葉」も

	(ア) を使う	(イ) を使う	どちらも使う
(ア) 担当の者を伺わせます。 (イ) 担当の者を伺わさせます。	75.5%	20.7%	2.9%
(ア) 絵を見せてください。 (イ) 絵を見させてください。	59.6%	32.7%	7.5%
(ア) 私が読ませていただきます。 (イ) 私が読まさせていただきます。	71.9%	23.2%	4.3%

これも本来は「さ」のない (ア) の表現が正しいとされています。

言葉は時代で変わるもの。しかし、子どもたちに伝えていく日本語がどうあるべきか考えさせられると同時に、自分自身が使っている言葉も間違っただけか不安になる記事でした。